



担当課	秘書課
連絡先	079-443-9000

タイトル	高砂道場 表敬訪問 ～マルちゃん杯全日本少年柔道大会出場報告～		
開催日時	令和8年7月30日(木) 14:00～		
開催場所	高砂市役所 本庁舎 4 階 秘書応接室		
概要 (内容)	市内の柔道教室「高砂道場」の選手が、9月20日(日)に東京武道館で開催される全国大会に出場されることの報告に来られます。 「高砂道場」は、5月17日(日)に開催された近畿少年柔道大会において3位となり、全国大会出場権を獲得されました。 【マルちゃん杯全日本少年柔道大会】 令和8年9月20日(日) 東京武道館 チーム名称：高砂道場 監督：梶原 浩平 出場選手7名(5人制+控え2名) 中谷 悠真(はるま) 山里 悠豪(ゆうごう) 松本 哲 (てつ) 石丸 遥希(はるき) 石山 大壱(だいち) 藤川 翔大(しょうた) 田村 優守(ゆうま)		
主催	高砂市		
担当からの アピールコメント			
市ホームページ	掲載あり (ID:)	掲載予定	☐ なし
添付資料	☒ (大会要項、大会結果)		なし

2026 年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会 大会要項

1. 目的 柔道の正しい技術を身に付け、競技力の向上を図ると共に、明るく、正しく、そして、逞しい少年の健全育成を目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本柔道連盟
3. 主管 公益財団法人東京都柔道連盟
4. 後援 公益財団法人講道館、東京都、公益財団法人東京都スポーツ協会
5. 特別協賛 東洋水産株式会社
6. 協賛 パーク 24 / ミズノ / 近畿日本ツーリスト / セイコーグループ / コマツ
三井住友海上火災保険 / 日本航空 / 大塚製薬 / 東日本旅客鉄道 / シミズオクト
大和証券グループ本社 / ブイ・テクノロジー / エアウィーヴ / 羽田タートルサービス
旭化成 / ジャパンエレベーターサービスホールディングス / センコー
カントリーオフィス / BEANS INVESTMENT / ヴァンガードスミス / ALSOK / 日本通運
日本製鉄

7. 日時 2026 年 9 月 20 日（日） 開会式 9:40（開場 8:00）／終了 17:00（予定）

8. 会場 東京武道館 大武道場〔東京都足立区綾瀬 3-20-1 Tel 03-5697-2111〕

項目	場所	時間
審判会議	2 階大研修室	8:30 ～
監督会議	2 階大研修室	9:10 ～
開会式	大武道場	9:40 ～
試合	大武道場	10:00 ～ 15:30
閉会式	大武道場	15:40 ～ 16:00

10. 参加資格 (1) 出場チームは、マルちゃん杯地区大会（以下、地区大会という）の選考によるチームとし、地区別の出場チーム数は次の通りとする。

地区名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州	合計
小学生の部	4	4	8	4	4	4	4	32
中学生男子の部	6	6	12	6	6	6	6	48
中学生女子の部	2	2	4	2	2	2	2	16

- (2) 出場するチームは、今年度の全日本柔道連盟登録をしている団体（学校、柔道場、クラブ、スポーツ少年団等）であり、チーム編成は小学生の部、中学生男子の部は監督 1 名、選手 5 名（最低 3 名）と補欠 2 名までの計 8 名、中学生女子の部は監督 1 名、選手 3 名（最低 2 名）と補欠 1 名までの計 5 名とする。**（但し、実態が同一である団体は名前が異なっても 1 チームのみの出場とする。）**

なお、補欠の補充は試合中の負傷等により欠員が生じた場合のみとする。

選手は、出場するチームを通して全柔連登録をしていること。また、監督不在のチームは出場することができない。

- (3) 選手の構成は、地区大会と同一メンバーとする。負傷等により変更する場合も、地区大会の登録選手の中から補充すること。地区大会の登録選手に補欠を設けていない地区については、小学生及び中学生男子は上限 2 名まで、中学生女子は上

2026 年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会 大会要項

限 1 名までを補充選手として認める。但し、地区大会以前にチームへの所属が登録システムにより確認できること。

※選手変更は 9 月 13 日(日)まで。なお、試合中の負傷により選手を変更する

場合は、救護室で受診し選手変更届を進行・放送係に提出すること。配列は体重順とする。

(4) 監督は全柔連公認指導者資格を有し、全柔連登録をした者とし、小学生・中学生男子・中学生女子の監督を兼任する事は認めない。監督を兼務しているチームは双方とも出場は認めない。大会当日兼務が発覚した場合、当該チームは失格とする。

(5) 選手本人の出場意思を確認し健康に十分な配慮を行い、出場に関して保護者並びに学校の承諾を得ること（証明書等の提出は求めない）。

11. 審判規程

(1) 国際柔道連盟試合審判規程及び「少年大会試合審判規程」で行なう。

(2) 試合時間は各部共 3 分間とする。

(3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり・有効）がない、又は同等の場合、「指導」差が 2 あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差が無く、かつ「指導」差が 1 以内の場合は「引き分け」とする。

12. 試合方法

(1) 試合方法は、各部ごとのトーナメント戦で行う。

(2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。

① 勝者数の多いチームを勝ちとする。

② ①で同等の場合は、「一本」（それと同等の勝ちを含む）による勝者数の多いチームを勝ちとする。

③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

④ ③で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

⑤ ④で同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。

(3) 代表戦においては、通常の 3 分間の試合を行い、得点差が無く、かつ「指導」差が 1 以内の場合は旗判定で勝敗を決定する（GS は行わない）。出場する選手は、「引き分け」であった対戦の中から 1 試合を抽選で決定する。また、「引き分け」の対戦がない場合は、「両者反則負け」等で勝敗が決していない対戦の中から 1 組を選出する。なお、代表戦において「両者反則負け」等で勝敗が決まらない場合は、その代表戦を再試合とする。

(4) 選手のオーダーは、負傷・事故防止のため体重の重い選手から順に大将から配列するものとする。なお、試合中に負傷等で選手変更をする場合も、大将から順に配列する。

13. 表彰

(1) 優勝から 3 位(2 チーム) までを表彰する

(2) 各部とも、優勝チームからマルちゃん賞を 1 名、2 位、3 位チームから優秀選手賞を 1 名ずつ授与する

(3) 参加選手全員に参加賞を授与する

2026 年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会 大会要項

14. 申込方法 (1) 申込期間 2026 年 7 月 17 日(金)13:00 から、8 月 4 日(火)23:59 までとする。
(2) 申込方法 全柔連システム(Judo-Member)を用いて行い、①②で申込みは完了。
①申込み <出場チームが実施>
・全柔連登録システムより参加申込み
・出場チームの登録責任者が取りまとめて申し込み
※申込ページの「大会情報>概要」の注意事項を必読のこと。
②承認 <東京都柔道連盟 *申込締切後も行う>
15. 選手変更 エントリー選手内の配列の変更は、大会 1 週間前(9 月 13 日)まで認める。それ以降は「欠場」を伴う選手変更(補欠繰上げ)・配列変更のみ認める。
<変更方法>
8 月 3 日まで : 全柔連システム(Judo-Member)にて申込者自身で変更する。
8 月 4 日～9 月 13 日 : 大会ページより配列変更書をダウンロードのうえ必要事項を記入し、moshikomi@tojuren.or.jp へて提出する。
9 月 14 日～大会当日 : 大会当日に会場内の「欠場者受付」に届け出る。
16. 組合せ 8 月下旬に全柔連 HP へ掲載する。
17. 柔道衣 (1) 柔道衣の袖・裾の折込みは禁止とする。
(2) 柔道衣、女子のインナーは白色のみとする。
(3) 認証柔道衣の使用は義務付けない。
ただし、製造者マークについては規定を遵守する。
18. ゼッケン 柔道衣に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。付けていない選手は出場出来ない。
図 1 ゼッケンの大きさと表記 図 2 縫い付け位置
-
-
- ①布地は白色の晒太綾、サイズは概ね横 30～35cm・縦 25～30cm とする。
②後ろ襟から 5～10 cm 下部に点線部分を縫い付ける(対角線も縫い付けること)。
③上 2/3 に苗字、下 1/3 にチーム名をゴシック体または明朝体(楷書)で記載し、男子は黒文字、女子は赤文字とする。
④チーム内に同じ性別で同姓(苗字が同じ)選手がいる場合は、名前の 1 字を記載する。
⑤記載するチーム名は略称を認めるが、チーム内で統一すること。
19. 経費負担 (1) 登録(申し込み)された監督・選手(補欠を除く)の普通運賃片道分の旅費を主催者が負担する。但し、関東から出場するチームには支給しない。乗車運賃は各道府県庁所在地から東京電環までの中学生は学生割引料金、小学生は子供料金を基準とする。但し、沖縄県から出場するチームについては片道分の航空券代領収書を提出すること。(普通運賃と実費のどちらか安価な方で支給する)領収金額に宿泊費が含まれている場合は支給対象外とする。

2026 年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会 大会要項

- (2) 宿泊費は各チームの負担とする。
- (3) 主催者が負担する経費は、大会当日の 8:30 から監督会議受付（2 階大研修室前）で支給する（監督は当日、必ず印鑑を持参のこと）

20. そ の 他

- (1) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）の発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。大会当日、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、出場ができない場合もある。
- (2) 出場選手の傷害保険については、主催者が加入しその費用を負担する。本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を施したり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り主催者、医療関係者は責任を負わない。
- (3) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
 - ・大会前 1 ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。（受傷した時点で必ず専門医を受診すること）
 - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。
- (4) 個人情報、肖像権の取り扱いについて
 - ・参加申込フォームに記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページ、セイコースポーツリンクに掲載される場合がある。
 - ・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
 - ・大会時に撮影する映像（ケアシステム等）を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。
 - ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
 - ・参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

【参加申込み及び問合せ先】

公益財団法人東京都柔道連盟

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館内

Tel 03-3818-4246 / Fax 03-3818-5644 / mail moshikomi@tojuren.or.jp

第31回マルちゃん杯近畿少年柔道大会要項

1 目 的

柔道の試合を通じて心身の鍛練及びその技能を磨き、将来を担う近畿地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しくそしてたくましい少年の健全育成を目的とする。

2 主 催

大阪府柔道連盟、東洋水産株式会社

3 後 援（予定）

（公財）全日本柔道連盟、近畿柔道連盟、大阪府、大阪市、大阪市教育局、（公財）大阪府スポーツ協会、大阪市スポーツ協会、読売テレビ、MBSテレビ、関西テレビ、朝日放送テレビ、テレビ大阪、（株）スーパーナショナル

5 日 時

2026年5月17日（日）開会式9時45分

（小学生8時20分集合、中学生8時50分集合、一般観客9時15分開場、16時終了予定）

6 場 所

Asueアリーナ（大阪中央体育館）大阪市港区田中3-1-40 TEL 06-6576-0800

（大阪メトロ中央線・朝潮橋駅下車徒歩5分）

7 試合種別

小学生の部、中学生男子の部、中学生女子の部による団体試合とする。

出場チームは各種別において1団体1チームとする。

（※実態が同一である団体は、名前が異なっても1チームのみの出場とする。）

8 参加資格

- （1）対象は小学生3年生以上・中学生とし、現に加盟団体の市町村の小・中学校に在学している者であって、全日本柔道連盟に登録（団体登録）をしている「学校」「柔道場」「クラブ」「スポーツ少年団」とする。（未登録チームは出場できないので、登録をしていないチームは試合当日までに所属の都道府県から団体登録を行うこと。また各団体は登録を確認のうえ申し込みをすること。）
- （2）監督は原則として、小学生の部と中学生の部の監督兼任は認めない。
ただし、中学生の部において、監督が1人の場合は男女の兼任を認める。男女の試合が同時進行する場合は、各チームに責任者（保護者可）がいることとする。
- （3）選手は、出場するチームを通して、全日本柔道連盟登録（競技者登録）をしていること。また、引率する監督は、指導者登録をしている者とする。なお、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合は、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。
- （4）選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承認を得ていること。
- （5）皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。
- （6）脳震盪対応について
 - ①大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
 - ③練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

- ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

9 審判規定

- (1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定 及び「少年大会特別規定」で行う。
- (2) 試合時間は各部 2 分とする。ただし、次の試合においては 3 分とする。(小学生の部および中学生男子の部、準々決勝戦以降 / 中学生女子の部、準決勝戦以降)
- (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が 2 つ以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が 1 以内の場合は「引き分け」とする。

10 試合方法

- (1) 試合は団体対抗点取試合とし、トーナメント戦によって実施する。チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 - ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - イ アで同等の場合は「一本」(それと同等の勝ちを含む)による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ウ イで同等の場合は「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - エ ウで同等の場合は「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - オ エで同等の場合は、「引き分け」であった対戦の中から 1 試合を抽選で選出し、代表戦で勝敗を決する。代表戦においては、所定の時間の試合を行い、得点差が無い場合、かつ「指導」差が 1 以内の場合は旗判定(GSは行わない)で勝敗を決する。「引き分け」の対戦がない場合は、任意の選手 1 名を選出する。なお、代表戦において「両者反則負け」等で勝敗が決まらない場合は、その代表戦を再試合とする。

(2) チーム編成

小学生・中学生男子の部は監督 1 名、選手 5 名、補欠 2 名の 8 名、中学生女子の部は監督 1 名、選手 3 名、補欠 1 名の 5 名とする。ただし、小学生・中学生男子の部は 3 名以上の登録選手がいれば、中学生女子の部は 2 名以上の登録選手がいれば出場を認める。

選手の配列は段級については自由であるが、事故防止のため体重の重い選手より大将から配列すること。ケガ等で補欠選手の起用が生じた場合は、改めて体重の重い順に大将から配列すること。また、欠員が生じた場合も同様とする。(小学生・中学生男子の部は 5 名・中学生女子の部は 3 名に満たないチームは先鋒から不戦敗とする。)

※小学生の部においては、男女の混合は認める。

※中学生の部においては、男女の混合は認めない。

※選手起用については監督の責任の下、実力をそなえている者を出場させること。

11 表彰

- (1) 各部優勝、準優勝、3 位(2 チーム)には、優勝杯、賞品を授与する。
- (2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部 1 名にフレッド・ワダ杯を授与する。
- (3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、小学生の部・中学生男子の部は 5 名・中学生女子の部は 3 名に優秀選手賞を授与する。
- (4) 全国大会の出場チーム
2026 年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会
2026 年 9 月 20 日(日) 東京武道館で開催
主催：(公財) 全日本柔道連盟 特別協賛：東洋水産株式会社

小学生の部	上位	4チーム	} を派遣する
中学生男子の部	上位	6チーム	
中学生女子の部	上位	2チーム	

なお、全国大会出場の選手は今大会と同一のメンバーに限る。

12 申込方法

(1) 申込期限

2026年3月29日(日) (別紙申込書様式を申込みフォームにて添付送信)

(2) 記入について

- ・学年は、新学年(2026年度のもの)を記入する。
- ・選手の配列は、必ず体重の重い者より大将から並べる。なお、その後の体重変動があっても申込書提出後のオーダー変更は認めない。

(3) 申込先・問い合わせ先

<https://sites.google.com/view/kinki-maruchan/>

kinkimaruchan@gmail.com

大阪府柔道連盟 (マルちゃん杯近畿少年柔道大会総務部) TEL 06-6964-5553

※問い合わせ受付時間 月～土 12時～16時

13 選手変更

- (1) 申込書提出後の選手変更(補欠を含む)は原則として認めない。ただし、選手の負傷などでやむを得ぬ事態が発生した場合の変更(登録選手変更)は、4月26日(日)までに、大阪府柔道連盟(近畿マルちゃん杯総務部)に申し出た場合に限り認める。
- (2) 補欠選手起用(オーダー変更)の場合は、大会当日、本部オーダー変更係に申し出て、オーダー変更用紙を該当の試合会場へ持っていくこと。

(体重順に配列すること。原則として、申込時の配列を基準とする。)

※変更になった選手は、以後の試合には出場できない。

14 組み合わせ

2026年4月4日(土)事務局において、大阪府柔道連盟及び東洋水産株式会社立ち合いの下に行う。

15 参加料

参加は無料。ただし、宿泊費・交通費・食事については、各チーム負担とする。

16 監督者会議

2026年5月17日(日)大会当日9時15分より体育館大会議室(地下3階)にて行う。

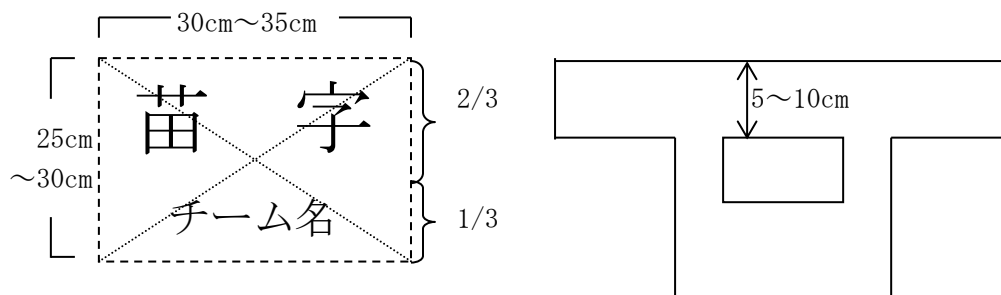
17 傷害保険

- (1) 主催者は参加者全員の傷害保険に加入し、費用を負担する。
- (2) 本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り、主催者および医療関係者は責任を負わない。
- (3) 万一の事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

18 ゼッケン

- (1) 柔道衣に必ず同一所属名のゼッケンを縫い付けること、異ゼッケン及びついていない選手は出場を認めない。
- (2) チームに2名以上同じ名字(姓)の場合は、名前の一字を加える。
- (3) 名字(姓)は上側、全柔連の団体登録名は下側に記し、下図の例の通り取り付けること。
- (4) 布地は白色の晒太綾、書体は太いゴシック体または明朝体(楷書)で記載し、男子は黒文字、女子は赤文字とする。
- (5) 二枚のゼッケンを二重に取り付けけないこと。

(6) ゼッケンのサイズ・取り付け部は下記に示す通り。



19 その他

- (1) 参加申込用紙に記載された個人情報（氏名・身長・体重等）は、大会プログラムに記載される。また、大会における写真等が新聞・雑誌・ホームページ等に掲載されることがある。提供された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
- (2) 体育館駐車場（有料）は駐車台数が少ないので、なるべく公共交通機関を利用すること。（体育館駐車場は大型車の駐車はできない）

第31回(2026)

Asueアリーナ大阪（大阪市中心体育館）

	小学生の部	中学生男子の部	中学生女子の部
優勝	八幡柔道クラブ（京都府）	大阪市立放出中学校（大阪府）	五條市立五條東中学校（奈良県）
第2位	吉川道場（大阪府）	宇治柔道会（京都府）	小野市立小野中学校（兵庫県）
第3位	二見少年柔道クラブ（兵庫県）	守山市柔道連盟（滋賀県）	高石市柔道スポーツ少年団（大阪府）
	高砂道場（兵庫県）	大津柔道協会（滋賀県）	有田市立有和中学校（和歌山）
全国大会出場チーム		籠野西JUDO CLUB（兵庫県）	
		ニュージャパン柔道クラブ（大阪府）	
フレッド・ワダ杯	内藤 翔太（八幡柔道クラブ）	井上 豪樹（大阪市立放出中学校）	甲斐 萌（五條市立五條東中学校）
優秀選手	竹内 遥希（八幡柔道クラブ）	村上 憲嘉（大阪市立放出中学校）	吉田 亜未（小野市立小野中学校）
	北口 愛々花（吉川道場）	松山 孝太郎（宇治柔道会）	大西 蓮花（高石市柔道スポーツ少年団）
	村上 卷士朗（吉川道場）	井上 ジュロム恵太（宇治柔道会）	柴本 恵菜（有田市立有和中学校）
	小野 湊詩朗（二見少年柔道クラブ）	東 大獅（守山市柔道連盟）	
	松本 哲（高砂道場）	大坪 素晴（大津柔道協会）	